双ケ丘中だより

京都市立双ケ丘中学校　6/21　第 11 号　文責　林

学校教育目標　「自らの未来を切り拓く，心豊かな生徒を育成する」

チャレンジ体験を終えて（その２）

２年生は，５月３１日（火）から６月３日（金）まで４日間の「生き方探究チャレンジ体験」を行いました。遅くなりましたが，２年生のチャレンジ体験を終えての感想を引き続き紹介します

私は御室保育園で保育士という仕事を四日間体験しました。保育士という仕事を通して，働くうえで大切なことや，「働く」ということについて深く考え，学ぶことができました。

保育士として働くうえで大切なことは，まず第一に，子どもの安全を考えて行動することだと学びました。小さな命をあずかっている立場としての責任感を持って，慎重に行動し，子どもの自立心を育てていくことがどれほど大変なことか，痛感しました。

幼児にとっては，私たちが普段あたりまえのようにやっていることでも，試練でありーつーつを学習していることが感じとれました。幼児が自分の力だけで，自分の身の回りのことを行える力を育てていくことの重要性を学びました。その自立心を成長させていくために，サポートするのが保育士なんだと思いました。また，自立していくために，やっていいことと悪いことの区別をしっかりさせなければなりません。幼児があやまったことをしてしまえば，しかってやって，やってはいけないことだと教えるのも本当に大変なことだけれど，保育士としてやらなければならない重要な仕事だと実感しました。

私が保育士という仕事をして苦労したことは，子ども目線になって理解することです。しっかり話せない子も多いので，子どもが何を伝えたいのか，何をしてほしいのか理解するのは困難でした。でも，子どもと目を合わせて向き合うことで，信頼関係をつくり，通じ合うことができました。子ども目線，立場になって考えることも大切だなと感じました。

今回のチャレンジ体験を通して，「働く」ということがどういうことなのか，自分なりに考えてみました。私は，働くということは社会に貢献することだと思いました。私は保育士として働いたけれど，どんな仕事でも必ず，誰かの役に立っていると思います。無駄な仕事なんて，この世にーつもありません。このチャレンジ体験で学んだことを，将来私が働いたときに生かしていきたいです。